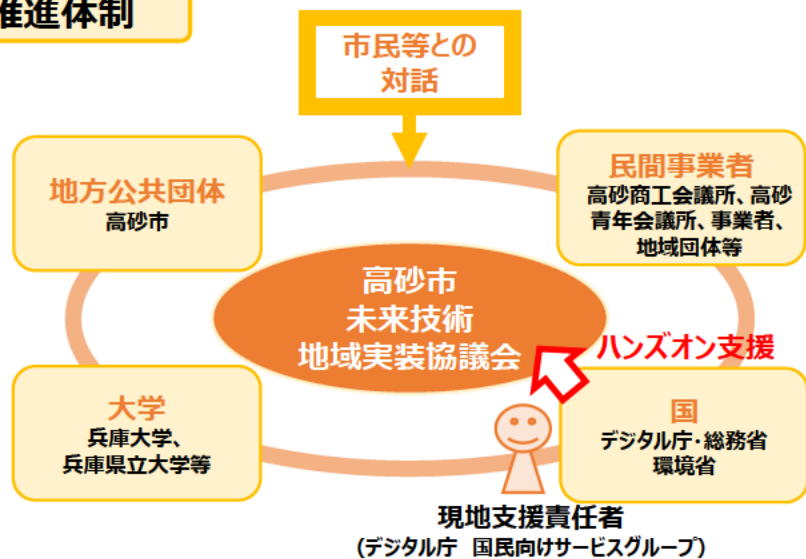


課題

- 人口減少社会への移行、インフラ老朽化、気候変動対策・脱炭素への流れといった社会環境の変化により、市民のWell-beingが低下する悪循環につながる恐れがある。
- 住民・職員が減少する中で、市民の暮らし・まちの賑わい・行政サービス水準の維持が課題。

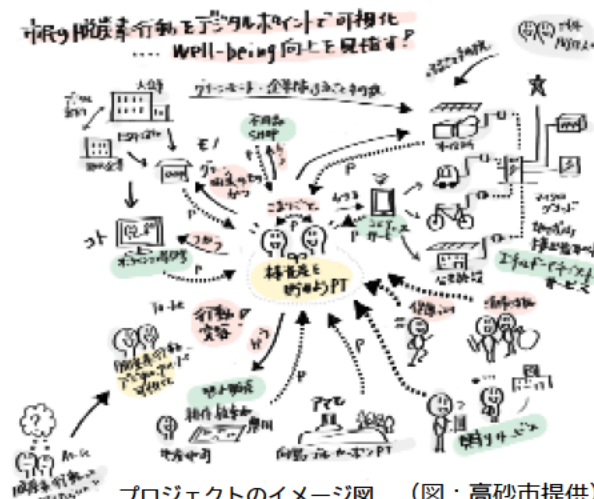
推進体制



課題解決に向けた取組

高砂ならではの顔の見えるコミュニティのアナログな助け合いの風土をデジタル・データを活用し維持・促進  
⇒「脱炭素化×DX」で地域住民の行動変容を促しWell-being向上へ

- **デジタル地域ポイント事業**
  - ・市内で地域通貨として利用可能な地域ポイントを発行し、地域での経済循環を促進。
  - ・コミュニティをよくする活動に対して、市がポイントを発行し、コミュニティ活動に対する謝意として市民間で相互付与も可能。
- **コミュニティをよくする活動 (Well-being) 促進事業**
  - ・エコアクション、エネルギー使用の削減量の実績に応じて行政ポイントを付与し、脱炭素行動の促進。
  - ・市民ボランティアのスマホによる児童・高齢者のみまもりと協力市民への地域ポイントを付与。
  - ・日常の「困りごとのある人」と「助けることができる人」のマッチングを行う実名制コミュニティサービスによる“顔の見える”安心感のある共助の輪づくりと、地域ポイントでの謝礼支払いによるコミュニティづくりと地域経済循環の両立。



プロジェクトのイメージ図 (図：高砂市提供)

2022年度の  
主な取組

- デジタル地域通貨プラットフォーム及びデータ連携基盤の構築、早期実装に向けたロードマップ等の作成
- 脱炭素化の促進に向けたエネルギー管理サービス及びその他公共施設関連サービスの早期実装に向けたロードマップ等の作成
- コミュニティをよくする活動 (well-being) 促進事業について、市民等との対話